



困難を抱えた人への支援について話し合う登壇者＝富山市の県民会館で

生きづらさ抱えた
人への支援考える

県民会館でシンポ

引きこもりやニートなど
生きづらさを抱えた人たち
への支援について考えるシ
ンポジウムが六日、富山市
の県民会館であり、県内の
NPO関係者らが意見を交
わした。

引きこもりの社会復帰を
支援するNPO法人「教育
研究所」（黒部市）の主
催。同法人理事長の牟田光

生さんのほか、自立支援塾
「はぐれ雲」（富山市）代
表の川又直さん、コミュニ
ティーハウス「ひとのま」
（高岡市）代表の宮田隼さ
んらが登壇した。

宮田さんは、出所者など
行き場のない若者との交
流経験を引き合いに、「問
題を抱えた人を排除する
のではなく、どうしたら生
きやすくなるのか、一緒
に考えることが大事」と話
した。川又さんは「人と
のつながりの中で『自分
には役割がある』と実感で
きる必要がある」と語っ
た。

オンラインを含めて約八
十人が聴講した。

（山岸弓華）